



松陵健児

発行：2023年9月1日 能代高校東京同窓会 発行責任者：吉田真由美 編集：会報誌グループ 題字：山田晃一(第42期) 印刷：株式会社毎栄



2022年10月1日、能代高校東京同窓会の総会・懇親会が3年ぶりに開催されました。
写真①は初参加者の自己紹介の場面。写真②は吉田真由美新会長のあいさつ。ケーキと飲み物だけの懇親会はコロナ禍を象徴する事例となったので、ここに写真③を記録しておきます。

2023年度(令和5年度)能代高校東京同窓会総会のご案内

【日時】2023年10月7日(土)

- 受付 12:00 ~
- 総会 12:20 ~
- 講演会 13:00 ~

お話と演奏 金野鈴道さん(第38期)
尺八演奏家

- 懇親会 13:30 ~ 16:00

【会場】アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間

【年会費】2,000円

【懇親会費】8,000円

*お振込、または当日受付にて受領します。
*若者特例があります(4ページを参照ください)。

【出欠】

*同封のはがきにご記入のうえ9月27日(水)までに投函ください。
*またはQRコードを読み込んで申し込みフォームより送信してください。
ホームページからも申し込みできます。



総会・懇親会の詳細は本誌4ページに掲載しています。

東京同窓会ホームページ <http://shoryokenji.web.fc2.com>

再会も新しい出会いも！

東京同窓会会長 第46期 吉田 真由美

昨年10月の総会で三浦洋前会長の後任として会長を務めることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

今年の春、折よく桜の季節に帰省することが叶いました。思い立って母校ゆかりの花めぐりをしようと、旧・二小の桜（現在は能代市役所のさくら庭）、一中のお隣の能代公園の桜を訪ねました。そして私にとって能代高校の桜といえば2年生まで通った樽子山。いまは文化会館が建つ旧グラウンドを囲む老木も満開を誇っていました。

東京同窓会の総会やイベントに参加するようになって20年以上になりますが、あるとき同窓生が思い浮かべる母校の姿はそれぞれ違うことに気づきました。樽子山だったり高塚だったり、また同じ校舎でも風景はだいぶ変化しているはず。それなのに同じ高校を出たというただ一つの共通点で集い、故郷を遠く離れた東京で懐かしさとともに楽しいときを過ごすことができるのは、考えてみれば不思議です。

でも、それこそが同窓会の魅力であるようにも思います。同期と再会して思い出を語り合うのはもちろん得がたい時間ですが、年代も卒業後の経歴も生活圏も異なるさまざまな同窓生と出会って交流し、新しい世界が広がるのもまた楽しみの一つであると、長く参加してきて感じます。

東京同窓会はコロナ禍を経て、昨年3年ぶりに総会を開きました。懇親会はお茶とケーキでしたが、それでも実際に集まれるのはいいものだとマスク姿で喜び合いました。今年こそは以前と同じような懇親会に戻したいと、幹事の皆さんと準備を重ねてきました。

昨今の物価高騰の影響で懇親会費を上げざるを得ませんでした。何卒ご理解のうえ、10月7日はアルカディア市ヶ谷にお出かけください。旧交を温めるとともに、たくさんの新しい出会いが生まれることを願っています。



「文武両道」を体現する生徒とともに

能代高等学校長 第53期 荒川 正明

東京同窓会の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より母校への深い愛情と教育活動への御理解、御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、生徒の活躍の場がコロナ禍以前の状態に戻って参りました。ただ、5類に移行されたとはいえ、ウイルスの病原性や感染力が低下したわけではありません。今後も感染予防、感染拡大防止に努めながら、「すべては生徒のために」を合い言葉に教育活動を展開して参ります。

さて、5月の大型連休明けの県北総体、春季全県野球大会（硬式、軟式）、春季東北軟式野球大会、全県総体、校内体育大会、能高祭等々において生徒は生き生きと活動しております。

今年の能高祭はテーマ「黎明」の下で4年ぶりの一般公開を実施しました。また、昨年度に引き続き「アースデイ能代2023」を企画・運営する生徒達もおります。今年度は能代松陽高校の生徒も巻き込んだ活動を展開し、将来的に秋田県全域での活動としたいと希望に目を輝かせております。まさに、「至誠力行」の精神で「文武両道」を体現している生徒たちです。このような頼もしい生徒たちが母校にいることを誇りに思い、今後も教育活動に邁進して参ります。また、関東圏には進学、就職で多くの卒業生がお世話になりますので、よろしくお願いいたします。

結びになりますが、本校の生徒たちが、創立百周年に向けて新たな伝統と歴史を築いていけるよう、東京同窓会の皆様のなご一層の御支援と御協力をお願い申し上げますとともに、東京同窓会の益々の御発展と、皆様の御活躍を衷心より御祈念申し上げます。



創立百周年に向けて

能代高校同窓会会長代理 第39期 山本 達行

東京同窓会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。昨年は、困難な状況の中での工夫を凝らした総会の開催や軟式野球部全国大会出場に関わる寄付等、同窓会活動へのご支援とご協力に感謝申し上げます。



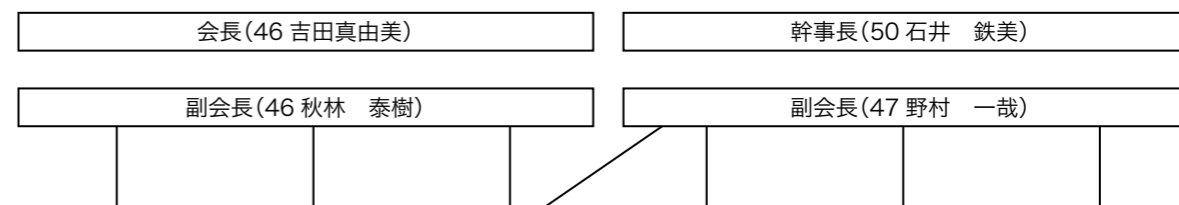
すでにご承知のことと思いますが、昨年12月、森田新一郎会長が逝去されました。同窓会長として、八峰町長として、様々な課題解決に挑戦して頑張っただけに残念でなりません。改めてご冥福を祈りたいと思います。また新会長は今年9月の総会で決める予定になっています。

さて母校・能代高校は、2年後の令和7年に創立百周年を迎えます。この会報が発行される頃には実行委員会も動き出し、記念事業に向けた様々な準備が進められていると思います。この節目となる周年行事は、同窓会にとっても極めて重要な

行事と捉えています。現在のところ、会員名簿の作成と記念誌発行への協力、記念行事と学校活性化に向けた取り組みへの助成などが役員会で合意され、学校側と話し合いを続けています。ただそのために必要な経費は高額になることが予想され、基金の取り崩しと会員各位からの寄付で賄わなければなりません。12月に発行される同窓会報「松陵」と一緒に、会費納入のお願いに加えて百周年記念事業寄付金の依頼書もお送りする予定です。諸物価高騰の折、誠に恐縮ですがご協力をお願いします。

今、能代高校周辺は大きく変貌を始めています。イオンやコメリなどの大型商業施設が次々と建設され、街の商業圏が東能代方面へと移りつつあり、すでに田んぼの中の学校のイメージはありません。更に、海岸には風力発電の巨大風車が立ち並び、工業団地（東能代）には大手木材会社の広大な工場が立ち上がりつつあります。百周年を機会にぜひ能代に足を運んで頂き、大きく変わろうとする能代の在り方に、それぞれの専門や経験を踏まえた多様なご提言を寄せて頂きたいと考えています。

能代高校東京同窓会 組織図(2023年6月10日現在)



総務グループ	財務グループ	総会グループ	会員増強グループ	情報発信グループ	会報誌グループ
45 袴田 邦夫	46 秋林 泰樹※	66 高橋 弘志	50 石井 鉄美※	53 梶原 禎子	55 淡路 和子
53 梶原 禎子※	40 小林 哲	41 小河 範也	66 高橋 弘志※	45 袴田 邦夫※	43 須藤 正喜
	50 佐藤 孝也	49 今野 泰則	68 幸坂 智子	62 大高 忠勉	51 河田 康史
	54 佐藤 篤規	49 近藤 敏仁	68 大塚さと子※	68 幸坂 智子※	55 嶋田久美子
アーカイブ担当	78 今西 拓磨	54 佐藤 篤規※	78 今西 拓磨※	68 大塚さと子※	68 大塚さと子
45 袴田 邦夫※				77 山崎 愛実	

数字は通算卒業期 ■ 網掛けはグループ・リーダー ※は兼任 注：2023年6月10日開催の幹事会にて承認

名誉顧問	26 八柳 昭義
顧問	39 菅原 涉
監査役	44 庄内 俊憲
監査役	45 三浦 洋

■他の各期幹事

【24期】山縣輝輔【26期】畠山信孝【29期】宮腰興紀【30期】熊谷幸夫【31期】馬場富男【32期】高谷誠【34期】西川廣正【35期】干場革治【37期】若狭秀巳【39期】大塚進、諸沢隆一【45期】大塚雄蔵、真崎裕【46期】石井喬【49期】片谷浩之、田村盛仁【53期】吉田順【67期】小野立、滝田祐作

2023年度(令和5年度)能代高校東京同窓会総会・懇親会のご案内

2022年度(令和4年度)総会・懇親会の出席者(同年度会費納入者)

【日時】2023年10月7日(土)

受付 12:00~

総会 12:20~

講演会 13:00~

懇親会 13:30~16:00

【会場】アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間

【年会費】2,000円

*世帯制割引:夫婦そろって同窓生の場合は1世帯2,000円

*新卒者特例(今年は第93期):1,000円

【懇親会費】8,000円

*若者特例(第84期~第93期):無料(年会費のみ)

*同伴家族:半額(4,000円)、小学生以下無料(年会費不要)

*東京同窓会以外の同窓生、友人:懇親会費のみ(年会費不要)

◎各会費はお振込、または当日受付にて受領します。

【出欠】

*同封のはがきにご記入のうえ9月27日(水)までに投函ください。

*または、はがきに印刷されているQRコードをスマートフォンで読み込んで申し込みフォームより送信してください。

*住所等の変更届けも、上記のはがきか申し込みフォームをご利用ください。

●アルカディア市ヶ谷 アクセス

JR/地下鉄(有楽町線・南北線・都営新宿線)
市ヶ谷駅より徒歩3分
千代田区九段北4-2-25 電話03-3261-9921
<https://www.arcadia-jp.org>



講演会・演奏会

「地球上最も簡素で最も芸術性の深い楽器、尺八の魅力」

お話と演奏: 金野鈴道さん
(第38期 本名 金野正道)

真竹自然素材そのままの楽器尺八。これで12律に留まらず森羅万象から喜怒哀楽の心模様まで表現する楽器尺八。およそ「地球上で最も簡素で最も芸術的な楽器」と言えよう。その尺八の魅力を、映像も交えて実演奏でお届けします。



《講師プロフィール》 こんの れいどう

琴古流(きんこりゅう)尺八演奏家(竹歴54年)。1949年二ツ井町(現能代市)生まれ、響中学校卒業。能代高校を経て新潟大学で故二代青木鈴蓐師(人間国宝)の衝撃の音と遭遇、底知れぬ感動で尺八邁進の端緒となる。琴古流尺八を青木鈴蓐師に師事。最高位虚空庵大師範九段を允許さる。金野鈴道リサイタル2回。NHKホール「古典芸能鑑賞会」出演、ETV放映。NHK-FM出演。モスクワ音楽院から単独招聘受け「尺八演奏会」など4度の渡露。秋田故郷コンサート(二ツ井小・増田蔵コン)。尺八&ギター「いとたけ」リサイタルとCD「たけ臈」製作。ロサンゼルス、ニューヨーク、アイルランド、南京など海外演奏も多数。

若手対象の参加促進事業について

若手同窓会員を対象とした同窓会活動参加促進事業があります。この制度により、今年は第84期から93期までの会員は同窓会本部からの助成金を利用し、懇親会費は無料とします(懇親会費無料の適用は該当10年間のうち一人2回まで)。

参加促進事業については、能代高校同窓会会報「松陵」第29号(平成29年12月発行)に掲載されており、その文面は東京同窓会ホームページでも公開しています。

【29期】宮腰興紀(一中)、赤塚鉄男(東雲) 【30期】熊谷幸夫(一中)、田中勝美(二中) 【31期】馬場富男(二中、旧姓工藤) 【34期】西川廣正(東雲) 【35期】平川徳道(一中) 【37期】今野廣隆(浅内) 【38期】佐藤能雅(東雲) 【39期】菅原涉(下岩川)、大塚進(二中)、諸沢隆一(一中) 【40期】小林哲(東能代)、智田農(富根)、川村力*(琴丘)、小川孔輔*(二中)、松岡明*(金岡)、石井さつ子*(八森、旧姓見上)、熊澤朝子*(二中、旧姓山崎)、北田実*(二中)、小松文明(一中)、平澤知明(岩崎)、武田清悦*(東能代) 【41期】小河範也(二中)、大久保英生(二中) 【43期】菊池忠夫(藤里)、須藤正喜(八森)、福岡武(二ツ井) 【44期】庄内俊憲(八森)、森岡雅信(二中) 【45期】三浦洋(森岳)、袴田邦夫(二中)、真崎裕(二中)、山谷めぐみ(二ツ井)、鎌田泰宏(二中) 【46期】吉田真由美(一中、旧姓工藤)、秋林泰樹(二ツ井) 【47期】野村一哉(二中) 【48期】北林蒔子(一中、山形県から参加)、藤田幹也(二中)、大黒規正(森岳)、山崎陽子*(二中、能代から参加)、泉牧子(檜山中、旧姓矢田部、秋田県から参加) 【49期】近藤敏仁(山本)、片谷浩之(二中) 【50期】石井鉄美(一中) 【51期】成田光昭*(一中) 【53期】梶原禎子(八竜)、吉田順(一中)、荒川正明*(一中、能代から参加) 【54期】佐藤篤規(二中) 【55期】淡路和子(一中)、嶋田久美子(常盤、旧姓工藤)、伊藤広一*(二中) 【62期】大高忠勉(峰浜) 【66期】高橋弘志(二ツ井) 【67期】滝田祐作(一中) 【77期】山崎愛実(東雲)

●同窓生出席者数 58人 ●*印は初参加者 11人 ●出身中学校名は卒業当時の校名

2022年度(令和4年度)総会 欠席しますと回答いただいた方と会費納入の方

【21期】八杉和男# 【24期】豊田誠# 【25期】畠豊彦#、栗原俊一#、工藤尊久#、町田次男# 【26期】伊藤倫子#、佐々木高博#、畠山信孝# 【27期】斎藤秀夫#、栗原優子#、石嶋喜直#、山田邦夫#、檜森寛#、大村真陸郎# 【28期】須田正巳# 【29期】鈴木元紀、塚本祝永#、下間弘道、笹木廣澄、嶋田雄右# 【30期】宮腰七郎、渡邊傑、武田茂、田村正宏 【31期】熊谷博雄#、佐藤昭夫、菊池宏道、高松和夫、柴田光夫#、小田幸雄#、岸部武彦# 【32期】森田弘、笠原強#、高谷誠#、田中正敏、吉岡良隆 【33期】清水靖子#、金田英成#、堀内忠人# 【34期】畠山昇#、斎藤彰悟#、棚橋東峰# 【35期】横田真理子#、唐沢好文、川添能夫#、金谷満郎# 【36期】智田慎正#、本庄眞、桜庭均# 【37期】小野津世子#、若狭秀巳#、小杉山久晴、梨本主税# 【38期】赤塚剛#、成田正廣#、荒川久敏#、福田満男#、松谷康雄#、市川正敏#、金野正道#、戸松伸一#、能登洋一#、菊地忠美#、袴田忠夫# 【39期】直嶋博明#、金野俊明#、佐藤景紀、茂呂忠良 【40期】増田春樹#、高橋博美#、北川雅夫# 【41期】田中亨 【43期】五代儀彦秀#、高橋敦子#、北林博敏#、石塚信一#、幸坂和彦# 【44期】渡辺隆幸#、武石栄伸#、宮城伸一郎#、佐藤伸 【45期】原田康男#、港基樹#、大塚雄蔵#、河田昌俊#、能上慎也#、金子豊#、高松武史#、井上清起#、相澤正和#、小杉山乙矢# 【46期】齊藤靖雄#、佐藤康准#、大塚晃、平川尚#、大山望#、鷲谷太郎、清水文彦# 【47期】五十嵐和雄#、佐野輝彦#、山田肇#、越中谷真喜#、大久保昭佳#、大槻務#、腰山達哉#、小林典雄# 【48期】小嶋寛#、淡路正則、小林金雄#、野村松信# 【49期】大塚聡子#、田村智昭、佐藤互#、鎌田健二#、薄井司、田村盛仁#、今野泰則 【50期】伊川千良、堀内学#、佐藤孝也#、村井清蔵# 【51期】村田祐子#、河田康史#、平塚征悦#、平塚佐智子#、袴田亘#、鶴谷則子# 【53期】堀内博司#、若林康人、石田千洋、鈴木美千子 【54期】佐藤周之#、今佐都美、遠藤いぶき#、三浦佳奈子 【55期】大山顕# 【56期】部村由美子# 【57期】青木いずみ 【59期】畠山真吾# 【63期】山崎祐介 【66期】畠山幸# 【67期】柳谷真澄、小野立# 【68期】幸坂智子#

●#印は会費納入の方 ●年会費世帯制の適用者3組は2名の名前を掲載しました。

亡くなられたとお知らせいただいた方

20期 吉田裕(2021年)、24期 中島正美(2022年6月)、29期 石川正順(2022年1月)、32期 濱屋裕一、36期 加藤和海(2018年5月)、39期 田村敏雄(2021年)、39期 金谷もと(旧姓大原、2022年11月)、40期 森田新一郎(2022年12月)、42期 工藤俊一(2019年10月)、53期 佐々木拓(2017年12月) ()内は逝去された年月

謹んでご冥福をお祈りいたします。

※このページは敬称を略しました。

能 高 生 だ よ り

～未来へ向かって、奮え！ 松陵健児～

3年 清水 莉々香

私はアースデイ能代実行委員として活動しています。アースデイとは地球環境を考え行動する日で、毎年4月22日のアースデイに合わせてイベントが国内外で開催されています。アースデイ能代はアースデイ東京の活動を知った先輩が、能代でも開催したいと思い、設立しました。能代市民のSDGs意識向上を目標に地球を考えたイベントを企画しました。

イベントは昨年と今年の2回開催をしました。昨年のイベントは風の松原でのゴミ拾いランニング、マルヒコビルディングさんでフードドライブや洋服ポスト、ペットボトルキャップ回収などを行いました。多くの市民の方に御協力いただき、フードドライブは食料を必要としている家庭に届けられ、洋服ポストの収益は能代市役所さくら庭に寄付しました。今年は私が先輩の後を引き継ぎ、共同代表を務めています。今年のイベントは能代市街地クリーンアップと、能代市役所さくら庭で昨年と同様にアクションブースを設置しました。

ペットボトルキャップ回収では昨年よりも100kg多い133kgのキャップが集まり、少しずつアースデイが能代に広がっていることを実感しています。また、私達の活動を多くの人に知ってもらうためフォーラムや活動紹介を開催しています。

今後の目標はアースデイ能代をアースデイ秋田にすることです。私は受験生なのでこの先は2年生に引き継ぎます。県内各地の高校生と協力し、アースデイを秋田県に広げてほしいと思います。私達の活動が皆さんの地球環境を考えたアクションを起こすきっかけになれば嬉しいです。

右端が活動報告会の様子。



私は小学校3年生の頃に始めた野球を続け、今年で10年目となりました。高校ではもっと上達し大きな舞台でプレーしたいと思い、強豪校である能代高校軟式野球部に入部しました。一昨年と昨年は西東北地区で優勝しました。全国優勝することはできませんでしたが、1年生から全国大会という大きな舞台でプレーすることができ、良い経験をさせていただきました。今年も全国優勝という部員全員の目標を達成できるように、練習や試合の中でも練習、実践、反省の繰り返しで日々頑張っています。7月1日～2日にこまちスタジアムで行われる第68回全国高等学校軟式野球選手権秋田県大会ではこれまでの成果をすべて発揮したいと思います。日々応援し支えてくれた保護者のみなさん、これまで指導してくださった先生方のために全国優勝という最大の恩返しができるように精一杯頑張ります。

また、私は高校生活の目標を文武両道とし、部活だけでなく勉強もおろそかにならないようにしています。高校では練習でのトレーニングが増え、中学よりハードになったことで、夜遅くに帰ってきてからの勉強はとてもきつくて慣れるまでとても大変でした。それでも、勉強の焦りや友達の支えで乗り越えることができ、これまで以上に充実した毎を送ることができています。部活を引退するとすぐに受験が始まります。自分の進路を実現できるように、これからより一層勉強に力を入れていきたいと思っています。これまでの経験を活かしてこれから何事にも全力で忍耐強く立ち向かっていきます。

(6月執筆)

3月の春季全県大会の様子。



特別寄稿

2022年度の能代高校東京同窓会・総会で講演をしていただいた小川孔輔さん(法政大学名誉教授、作家)に、この会報のため特別に寄稿いただきました。同窓生、現役高校生のみなさんもぜひお読みください。

29歳の処世術

第40期 小川 孔輔



雑誌のインタビューなどで、「先生の座右の銘(ごゆうのめい)は何ですか?」と聞かれることがあります。ふつうは無難に、「有言実行」など4文字熟語で答えるものなのでしょう。わたしは、ちょっと嫌味なのですが、以下の英語の金言を引用することにしています。

“If you cannot beat them, then join them.” 米国留学中に覚えたフレーズです。意識すると、「相手を打ち負かすことができないと思ったら、仲間にしてしまえ!」となります。そうなのです。高校時代から大学院での研究生活を通して、勉強でも研究でも、競争に勝つことに腐心していました。負けず嫌いな性格もあって、いつも一番なることを目標に努力をしました。

ところが、米国の大学院で、その考え方を180度変えることになりました。29歳の時です。留学先のカリフォルニア大学には、世界中から優秀な学者の卵たちが集まってきていました。その中で

飛び抜けた業績を残すことは、とても困難なことだと感じました。悩み多き29歳の客員研究員にとって、たまたま目についた「勝つためには仲間を増やしなさい!」という英語の格言が、天からの声に聞こえました。

教員生活46年間で、50冊の書籍を出版できました。大学教員としては、記録的な出版点数ではないかと思えます。それが実現できたのは、意識して共著(共同執筆)を増やしてきたからです。単著(単独の著作物)は、全体の半分以下の19冊しかありません。

さらに、50歳を超えたあたりから、自身が組織した研究プロジェクトではあっても、論文や書籍では、共同研究者の名前を前に置くようにしました。例えば、岩崎達也・小川孔輔共編著『メディアの循環』(生産性出版、2017年)などです。岩崎教授(関東学院大学)は、わたしの20人の弟子の中のひとりです。これも海外の研究者の流儀をまねたものでした。有名教授ほど、自分の業績よりも、弟子や若手の研究者たちの将来を大切に考えていました。

なお、一緒にプロジェクトを組織するときに、強く意識していることがもうひとつあります。仲間を探すときに、できるだけ専門領域が遠くて異質な人物を選ぶように努めたことです。異質な発想の分野が異なる専門家と仕事をするのは、他方で調整のための作業を難しくします。ところが、これがプラスに働くことがあります。

専門領域が離れている異能の人同士が組むと、研究に思いもかけないような飛躍が起こるので。発想が異なる異能の相手からは、新しい知恵を授かることも多いのです。他方で、似たようなタイプの専門家と研究しても、「1+1=3」にはならないものです。

29歳のときに苦しい思いから脱却できたのは、「競争」を軸にした仕事の仕方を、「共同」で仕事に取り組むことに発想を転換できたからだと思います。一人で論文を書くよりは、仲間と仲良く仕事をしている方が楽しいものです。仕事を早く終わられます。知的生産性も高まります。

総会・講演会・懇親会報告

3年ぶりの東京同窓会総会

2022年10月1日(土)、能代高校東京同窓会の総会がアルカディア市ヶ谷の富士の間で開催されました。コロナ禍の影響により2年連続で中止を余儀なくされましたが、3年ぶりの開催となり、約60人が出席。来賓として荒川正明校長先生、能代高校同窓会副会長の泉牧子さん、秋田県東京事務所所長の成田光明さんにご列席いただきました。

感染防止のため、ご来場のみなさんにはまず受付で検温と手指の消毒、マスク着用をお願いしました。懇親会ではアルコール飲料の提供はなく、ケーキとコーヒーまたは紅茶での会合となりました。総会の審議に続いて、講演会も復活し、そのあとの懇親会は高橋弘志さん(第66期)の司会で進行。以前に比べて出席者が少ないのは仕方ありませんが、講演会講師の小川孔輔さん(第40期)と同期の方を中心に、総会に初めて参加する会員が増えたのはうれしいことでした。初参加者紹介のコーナーはとても親密な空間となって盛り上がりました。また、アトラクションとして山崎愛実さんに朗読のパフォーマンスを披露してもらいました(「会員だより」のご本人の寄稿に詳しく書かれています)。

校歌斉唱もやはり感染防止を考慮してマスク着用のまま小声での実施でしたが、応援団長役の大高忠勉さん(第62期)のリードで、一体感の

ある時間になりました。片谷浩之(第49期)さんの発声で万歳三唱、無事に閉会しました。

講演会「食の未来」

小川孔輔さんの講演の演題は「食の未来～食ビジネスを取り巻く機会と脅威」。グローバルからローカルへ、人工から自然へ、洋から和への回帰、都会一辺倒から田舎もミックスした世の中になるというお話は、地方出身の私たちの関心を引きまします。「食の持続可能性」のお話では、地球温暖化の原因として、獣肉の過剰摂取やフードロスなどが挙げられ、フレキシタリアン(緩やかな菜食主義)の勧め、週に1日ぐらいは肉食をやめようという動きも紹介されました。

講演は秋田や能代にかかわる予言で締めくくられました。小川さんは日本フローラルマーケティング協会の会長でもあります。秋田県に園芸作物(特にチューリップとダリア)の可能性があるというお話。秋田県の農業およびサービス業の展開が注目されます。

小川さんは今回の東京同窓会総会について『北羽新報』の連載で執筆なさっています。ご自身のブログでも公開されていますので、2022年10月24日付の「54年ぶりの再会」をぜひお読みください。「小川先生のブログ」で検索してもすぐに見つかります。

<http://www.kosuke-ogawa.com/>

文責/淡路和子(第55期)



壇上で講演をする小川さんと、スクリーンを見ながら熱心に聞き入る出席者のみなさん。

会員だより

私の高校生活

第40期 熊澤(山崎)朝子

昨年度の東京同窓会・総会に出席した際、初参加ということで、高校時代の思い出を話す機会が与えられました。突然のことで、『え!高校時代?!何やってたっけ……』とパニックになり、「申し訳ございません。突然でよく覚えていません」という私の答え。そういう訳で、その後高校時代の記憶をたどってみました。

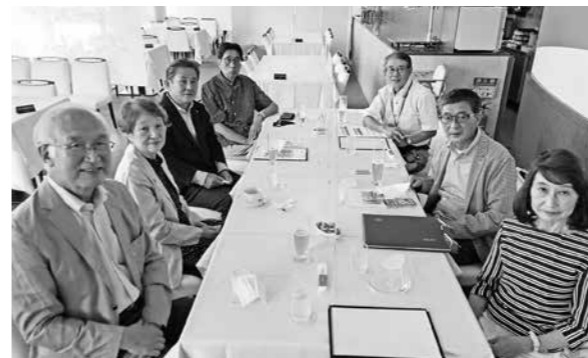
1970年卒業。古い木造の樽子山校舎しか知りません。同学年357人卒業、うち女子12人。一クラス50人近くいて、目の前は黒の詰襟で一杯。

まずは登校。学校が近かったのでギリギリまで寝ていて、毎日「遅刻しそう」と言いながらプラタナス並木を走って登っていました(笑)。深夜ラジオ、『オールナイトニッポン』『パックインミュージック』を聞くのが日課でした。

また、化学部の部活の時、消火器を作っていたら突然煙が出て、先輩に「逃げろ」と言われ皆で窓から飛び降りたこともあります(古い校舎は窓からの出入りが簡単)。先生も「きちんと片付けろよ」と言って笑って終わり。今ならニュースになるかも。

最悪だったのは、体育の時間が終わって教室に戻ると、「うっ!むっとする!臭い!!」男子の着替えの後の汗臭さで、毎回入口で引いてしまうのです(特に冬は窓を閉めているので超臭い)。

良い思い出は、何人かで教室に残って勉強を教えてもらったこと。用務員さんに「もう帰れよ」と言われるまで残っていたこともあります。受験成功につながった思い出の一つです。



第40期だけの二次会に集まったみなさん。

前回の東京同窓会は卒業53年の経過で同級生と会っても戸惑いが大きかったものの、有意義だったと思います。

2022年度総会・懇親会に参加して

第48期 藤田 幹也

コロナ禍のため、2019年度の総会・懇親会を最後に2年間開催中止となり、昨年10月に3年ぶりに参加をさせていただきました。久しぶりに皆さんの元気なお姿を見て懐かしく、また自分自身も元気をもらえた会だったと思います。

例年開催される能代高校出身者の素敵なゲストの方の講演はいつも楽しみにしていますが、22年度は40期で法政大学名誉教授の小川先生の「食の未来」に関する講演で、とても解りやすく、有意義で楽しいお話を聴くことができました。

その後の懇親会は、新型コロナウイルス感染防止のため、アルコールなしでの開催となりましたが、工夫を凝らした能代ならではの出し物が満載で、東京同窓会の参加者はほとんど東京で生活している方々と思いますが、能代に帰って来たような懐かしさを感じ、楽しいひと時を過ごせました。

最後に、今年の5月末で長年勤めた会社を定年退職したのですが、昨年の会に参加して、改めて自分の同期や先輩たちが頑張っている姿に触れたことを思い出すと、定年してもまだまだ自分のやりたいことに積極的に向き合っていきたいと感じました。

次回は10月7日開催とのことで、会長さんをはじめ幹事の方々は準備などでご苦労されていることと思いますが、毎回参加した方々が能代に帰ったようなひと時を過ごせる、元気になる会を開催していただいていることに感謝しています。次回の総



懇親会ではマスクを着用したままで懇談。

株式会社グッドライフケアホールディングス

『住み慣れた自宅で最後まで暮らしたい』そんな願いに
様々な在宅支援サービスでお応えします

介護 看護 リハビリ 福祉用具 ケアマネ

東京都中央区新川1-23-5 SHINKAWA EAST 3階
TEL 03-3537-0790 (代表) FAX 03-3537-0791

会・懇親会でまた皆様とお会いできることを楽しみにしております。

能代高校出身でよかった!

第77期 山崎 愛実

「能代高校出身でよかった!」東京に出てきて同窓会の皆さんと出会えて、いつもそう感じます。いろいろな世代、分野の先輩たちと交流できる機会はなかなかなく、いつも沢山刺激やパワーをいただいています。気にかけてくださり交流していただき、本当にありがとうございます!

私は普段は俳優・脚本・演出として【音楽・演劇と歴史の力で地域おこし】をテーマに活動しています。

昨年は久しぶりの総会の開催。その大切な会でパフォーマンスさせていただけたこと心から光栄でした。演目は、偉人志語り「長尾祐達~さあ、そりどご引け」。最初に風の松原に松を植え始めた男の物語を能代弁でお届けしました。

この作品を能代出身の皆さんが観てくださるといのはとても嬉しくて!(プレッシャーもありましたが笑)皆さんが楽しんでくださっていたら心から幸せです。

私は、演劇部に入りたくて能代高校を選びました。能代高校の作品が一番尖っていて魅力的で、心惹かれたのです。実は今でも舞台の上手と下手の確認は、能代高校のステージの景色を思い出します。あの場所は私の大切な原風景。

私の人生の目標は、47都道府県全ての地域の偉人を作品にし、様々な地域を盛り上げることです。私がそう思えるのは、故郷が大好きだと思



懇親会で朗読を披露した山崎さん。

ているから。大好きで大切な方々が今も能代にいるからです。そしてこれからも能代での活動も大切に続けていきたい。風の松原に流れる能代を想う先人の心や今の状況を、演劇で子どもたちに伝えていきたいのです。

私の原点、能代高校に心から感謝しています。これからも何卒よろしく願います!

荒天の隙間で BBQ

第50期 佐藤 孝也

まだ5月だというのに気温が30度を超えたり、寒くなったり(栃木県那須の山は雪がチラつく日も)、大雨になったりと不安定な日が続いていました。そんな荒天の隙間、風もなく暑くも寒くもない絶好の快晴の下、バーベキュー(BBQ)が葛西臨海公園で行われました。

イベント担当、石井さん(第50期)の呼びかけに集まった9人はBBQのプロ平塚さん(第51期)の指導の下、有料テントを借りることなく大木の下に陣取り、直射日光を避けながらゆったりした時間を過ごすことができました。「自分が食べたい食材、飲み物を用意する」だけのルールでしたが、ウェルカム・スパークリング~サラダ盛り合わせ~チーズフォンデュまでいただけるという幸せな時間でした。自分が持ち込んだ冷凍宇都宮餃子は目を離した隙に焦げ付いてしまい、大失敗作となり申し訳ありませんでした。

飛行機の航跡や観覧車を見上げ、時に海辺の風景も楽しみながらの最高な一日でした。

次回は9月17日(日)に同所で開催予定です。



5月21日(日)のBBQを楽しんだみなさん。

能球会参加者の声

2023年4月20日(木)に千葉県ゴルフ場、丸の内倶楽部で能球会を催しました。直前にキャンセルが3人出てしまい、6人での開催になりました。スタート時こそ曇りがちでしたが、その後は日陰が欲しくなるほどの暑さ。そして、その暑さに負けないくらいの熱戦、接戦でした。後半捲った山谷さんが見事優勝。バスグロは初参加の小林さんでした。

成績発表会でみなさんに感想をうかがいました(総括:石井)。

宮腰興紀(第29期) 前回104だったが、今回は95だった。次回は90、85と良くしていきます。参加人数が多ければもっと楽しかった。4組くらい欲しい。

赤塚鉄男(第29期) 2か月ぶりにゴルフができて満足しています。お天気が良くて日焼けしました。

西川廣正(第34期) 何回も来ているホームコースみたいところです。前半好調で80台で回れるかと思いましたが、後半バテバテでした。今回はキャンセルが多くなり残念でした。

山谷めぐみ(第45期) サイコーです。最終ロングホールでロングパットがピシッと決まってパー。スコアも後半45、トータル93だったので気持ちよく帰れます。

小林典雄(第47期) ボール4個なくなりました(笑)。千葉県では何年ぶりのラウンドでした。また誘ってください。

石井鉄美(第50期) 前回は同じゴルフ場で88でしたが、きょうは100叩きの刑に遭いました(笑)。次回は別コースで開催してリベンジします。



東京同窓会の同好会

東京同窓会には以下の同好会があります。参加希望や新たな同好会の提案等は事務局へご連絡ください。

メールアドレス:NoshiroHTR@gmail.com

◇能高五日会

若手同窓生(第45期より下)の親睦と交流を目的にした懇親会を開催。代表者:高橋弘志(第66期)

◇能球会

東京近郊のコースでゴルフを楽しんでいます。次回は2023年10月19日(木)に浦和ゴルフ倶楽部で開催予定。代表者:石井鉄美(第50期)

◇能高釣クラブ

自然を満喫しながら、渓流釣を楽しみます。代表者:小河範也(第41期)

◇東京探訪の会

あまり触れることのない「東京」を訪ね、約2時間のコースを散策。代表者:吉田真由美(第46期)

◇能高バスケの会

能代カップ等の観戦、本校バスケットボール部やOB会との交流など。代表者:片谷浩之(第49期)



2022年度総会の懇親会より、校歌斉唱の場面。

湯島で同窓生に会える店

ふぐ・季節料理
上野 きくち

通算43期(新制25期) **菊池 忠夫** 白神山地(藤里町)出身

湯島中坂下交差点
ホテル末通口
湯島通り
ライオンズタワー
湯島駅6番出口

黒門小学校

千代田線湯島駅6番出口
徒歩1分
(大手町から北千住へ向かって最後方出口)
東京都台東区上野1-12-2
亀田ビル 1F 〒110-0005

ご予約をおすすめします

03-3839-3382

2023年度(令和5年度)収支決算報告書(2022年8月1日~2023年7月31日)

収入の部			支出の部		
項目	予算	決算	項目	予算	決算
総会収入	130,000	103,000	総会費	520,000	528,139
会費収入	300,000	326,000	組織拡張費	0	0
雑収入	48,010	29,009	一般管理費	65,000	92,348
当期収入合計	478,010	458,009	当期支出合計	585,000	620,487
			当期収支	▲106,990	▲162,478
			前年度繰越金	1,294,258	1,294,258
			翌年度繰越金	1,187,268	1,131,780

■同年度の収入には、次の同窓生からの寄付金が含まれています。ありがとうございました。

【40期】智田農 【43期】菊池忠夫

★会報には簡易版を掲載しています。総会資料、東京同窓会ホームページでは詳細をご覧ください。

【会費納入のお願い】

◎会員の皆様から戴いている年会費は主に会報の発行と、幹事会や総会開催に掛かる費用に充当されています。今後とも納入にご協力をお願いいたします。

●年会費は2,000円です。

以下の納入方法があります。

①郵便振替払込(手数料は同窓会が負担)

会報に同封した赤色の用紙をご利用ください。現金で入金の場合は、払込人に「現金利用時の加算料金」110円がかかります。通帳・カードを使用すればかかりません。

②ゆうちょ銀行へ振込

下記「年会費振込先」の口座へお振り込みください。振込手数料はご負担願います。

ゆうちょダイレクトをご利用の方は、インターネット経由で送金すると手数料は無料です。

なお、送金・振込時には名前の前に卒業期(通算)の数字を添えていただくと助かります。

(例:46ヨシダマユミ)

③総会の会場で納入

受付で現金をお預かりします。

●年会費振込先

◇郵便払込口座番号 00150-7-27459

加入者名 能代高校東京同窓会

◇ゆうちょ銀行 〇一八(ゼロイチハチ)支店

普通預金 5914261

名義 能代高校東京同窓会

本年7月の秋田県の大雨により被害に遭われた皆様に、心からお見舞い申し上げます。

能代高校東京同窓会

【会報はホームページでも公開中】

■東京同窓会の会報は第1号からすべてホームページで、PDFで公開しています。トップページから「会報」の項を選んでご覧ください。第15号以前は誌面からのPDF化のため少し読みにくくなっていますが、何卒ご了承ください。

能代高校東京同窓会ホームページ
http://shoryokenji.web.fc2.com



【東京同窓会事務局へのご連絡】

■能代高校東京同窓会事務局へのご連絡はEメールでお送りください。

専用メールアドレス: NoshiroHTR@gmail.com

東京同窓会ホームページからもリンクしています。新規登録や住所変更は専用フォームがあります。



松陵健児

能代高校東京同窓会 会報 第33号

発行日 2023年9月1日

発行 能代高校東京同窓会

発行責任者 吉田 真由美

編集 会報誌グループ

印刷 株式会社 毎栄

■能代高校東京同窓会事務局

E-mail: NoshiroHTR@gmail.com

Website: http://shoryokenji.web.fc2.com

千葉工大の宇宙教育

千葉工大では、中・高生や現役大学生を対象として宇宙教育に力を入れるとともに、惑星探査センターでの高度な研究も行っています。



ハイブリッドロケットの設計・製作・打上

成層圏へ小型気球を飛ばす

キューブサットを宇宙に打ち上げてミッションを行う など



プロジェクトの詳細はコチラ



千葉工業大学
CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

公式WEBサイト
TEL.047-478-0222(入試広報部)
〒275-0016 千葉県習志野市津田2-17-1

